



Vol.180  
【広報】

小さな島  
みなファミリーto  
725知夫里島

(ラッキーセブン・ツー・ゴー)

平成17年10月1日 国勢調査725人

# ちぶ

平成19年  
**5**月

## 目次

CONTENTS

村長施政方針	2	イベント情報	7
議員抱負	3	招福苑だより	8
卒業生からふるさとへ	3	ふるさとへの想い	9
お大師参り	4	平成19年度村予算	10
プロジェクトX	5	戸籍コーナー/1ターンの紹介	11
産業振興を目指して	6	宝	12

## 村の人口

DATA

平成19年5月1日現在  
人口：715人  
(男：331人 女：384人)  
世帯数：370世帯  
65歳以上人口比率：41.82%



## 野大根祭り

知夫里島の観光の幕開けを告げる行事として、仁夫里浜公園において野大根祭りが開催されました。当日は、大山寺の住職を招いての赤八ヶ山での牛馬祈願祭と隠岐島畜産共進会知夫村予選が同時に行われ、餅拾い、小学生の踊りをはじめとしての演芸に村民一同春の一日を満喫しました。



# 施政方針

知夫村長 影原正美



村長に就任いたしましたから、早いもので任期四年のうち二年四月が経過しました。この間の皆様の暖かいご支援ご協力に際し厚くお礼を申し上げます。平成十三年三月に策定されました、第四次知夫村総合振興計画「活力あるすみ良い郷土・知夫村」の十年計画も七年目を迎え、いろいろな面で計画が実行されておりですが、平成十九年度もこの計画に基づき、村政を執行してまいりますので引き続きご理解ご協力方よろしく願います。

## 島をつくる

第一に「島をつくる」ための生活基盤の整備でございますが、森林の回復は、島前森林復興公社事業費、六、〇六二千元、村負担金、一、五七六千元で、棚畑地区の新植、二、〇ヘクタールを実施し、森林の回復に努めると共に、離島漁業再生支援交付金により、浅島、渡津島へマツクイムシ抵抗松の植林と、畜産ボランティアにより、牧野への牛馬の日陰松の植林を実施いたします。下水道整備は、完了いたしましたので、各戸の繋ぎ込みを促進します。

居住環境の整備は、仁夫アパートの各戸の風呂、台所、洗面所のガス給湯器と火災報知器の整備を、予算計上額四九、二〇八千円、内補助金三三、二七四千円、地方債二二、〇〇千円



た飼料基盤活用促進事業が二ヶ年事業のため、十八年度で終了し、共同放牧場機能アップ事業も同様十八年度で終了いたしました。今年度は、農地、水、環境保全向上対策事業交付金一、三二二千元により、草地の維持管理と共に、平成二十年度からの三ヶ年の農業振興公社事業、畜産公共事業の調査、研究を行い、放牧環境の整備と畜産農家の省力化に努めます。



観光振興につきましては、知夫村観光協会への補助金、三、五九〇千円が主な予算計上ですが、昨年九月に商工観光課を設置させていただきました。年間を通じて、旅行者や関係団体との連絡を密にし、スポーツ、民謡等の宿泊交流会、他いろいろな企画をしております。昨年からは実施して好評でした浅島海遊び企画を、今年からは旅行者に集客を依頼して実施いたします。

畜産農家主権の畜産祭りに協賛し、大山寺住職によるアカハゲ山大山さん畜産祈願祭と、仁夫里浜公園にての餅撒き他各種イベントを行いますので、ご協力をお願いいたします。

広島での島根ふるさとフェアや知夫里島フェアへの出展等、第三セクターと共に、村独自のどつ



さり料理を観光の核として宣伝に努めるほか、島根県も隠岐四町村も観光を中心に振興をはかる方針ですので、いろいろなイベント等に積極的に参加をし、隠岐全体の観光振興に寄与し、地理的に不利な面も考慮して戴きながら、村の観光振興に繋がりたいと考えております。

定住対策につきましては、窓口を商工観光課に置き、広報等をおして、本当に知夫に定住する意思があるのか、定住するために何が必要か等を、個々に申込みを受けて、対応したいと考えております。

## 人をいかに

第三の「人をいかに」ための文化基盤の整備については、外国人語学指導助手の配置等、十八年度同様学校教育の充実に努めます。又、広報「ちぶ」を年三回発行すると共に、各地の知夫人会に出席し、出郷者との交流を深め、観光客誘致や定住促進等、村の振興のための情報交換を行います。

## 人をまもる

第四の「人をまもる」ための安全基盤の整備については、第一に医療の問題ですが、懸案でありました、知夫村内科診療所を三月末で離任される柿木医師の後任は、島前病院の白石院長のご尽力により、島前病院の横田医師の派遣駐在が決定し、柿木先生同様の診療体制となりましたが、臨時医師不足により、当分のあいだ木曜日の小児科診療が出来なくなりますので、ご理解をお願いいたします。

歯科診療所の山住医師との二年間の契約が、三月末で終了するこ



とに伴い、後任医師の派遣を、鳥取大学医学部歯科口腔外科の領家教授に依頼し、十九年四月一日から二十年九月三十日まで

防災機能の強化については、今議会に上程いたします。知夫村安全で安心なまちづくり条例の制定のほか、島前三町村合同の、島根県総合防災訓練を行います。日時、場所等は決定してありません。

## 行財政運営

第五の「行財政運営」は、平成十八年九月補正後作成し、既に皆様にも公表しております。平成十七年度から二十一年度までの「中期財政計画」により、国の地方財政計画の地方交付税情報をもとに判断し、その都度、数値の見直しを行い、二十二年末の基金残高を、約三〇、五三二四程度と推計しておりますが、冒頭に申しあげましたとおり、平成二十三年度以降の行財政運営はかなり厳しいもの予想されますので、十八年三月に策定いたしました、十七年度から二十一年度までの「知夫村集中改革プラン」により、徹底した経費の節減と効率化を図り、財政健全化の取組みを実施し、広報等いろいろな機会に財政状況を公表しながら、「活力ある住みよい郷土・知夫村」の単独村政の存続を図りたいと考えております。

# 夢ある島・ 美しき人の住む島

—村づくりの起爆剤としての  
議会活動をめざして—

平成19年4月29日の議員任期満了に伴い、無投票当選を果たした議員の皆様は、村への抱負、展望を語っていただきました。  
※( ) 当選回数

**徳田 博史** 59歳(3)【議長】



一、漁業、畜産、観光の育成、発展を重点施策とする。二、雇用創出を目的とする。三、交通安全、災害のない安心で安全な村づくりに努めます。

**井尻 義教** 57歳(2)【副議長】



一期四年間の議会活動を通じ、医療、福祉、教育の充実を、知夫村の発展の基盤産業である漁業、畜産、観光等の各種政策について再度見直す必要があるように思います。一、森林の整備について、松くい虫の被害により知夫村の島全体の景観が失われていることより、植林等を行い島の景観と栄養豊富な海づくり、災害に強い郷土づくりを行います。二、ふるさと運動について、村の人口の最盛期二千五百人から七百人弱の人口になっていることより田舎の人情味豊かな人、味覚、美しい景観を資源に観光産業と定住政策を促進し、人口減少に歯止めをかけます。「わが

とこ」の発展のために一生懸命頑張ります。

**高田 武** 76歳(6)



一、知夫村の自立を守り、村予算の効率化等により、財政の健全化を図り、住んで良かったと感じられる村づくりを推進します。二、人口減少に歯止めをかけるために、U・Iターン者への定住対策を推進します。三、漁業、畜産、観光等の産業振興や特産品づくり等により村の活性化を目指します。四、招福死事業の充実強化、なごみの里への支援、在宅福祉の推進等により高齢者の安心して住める村づくりを推進します。五、次の世代の担い手育成を目指し、故郷教育の更なる充実を推進します。六、村民の要望を真摯に受け止め、積極的に価値ある議会活動を目指します。

**並河 睦夫** 60歳(3)



これまで二期の議会活動で、私自身は内航船問題に取り組み運行時間の見直しを推進してまいりました。まだまだ問題の多い航路です。今後は重点的に取り組んでいきたいと考えています。また、この問題とあわせて観光振興にも努めます。

**仲野 昭男** 58歳(3)



平成十一年四月当選以来、平成の大合併を乗り切り、一島一村の単独村政を選

択したわけですが、国の歳出削減により、財政運営は一段と厳しく村民の皆様の負担は増すばかりです。この局面を乗り越える為、村執行部、議会、村民が一致団結し、日本海の美しい島の自然を守り、知夫村の発展に力を尽くすため、第一に産業振

興、第二に定住対策、第三に環境整備を三期目の目標に掲げて尽力します。

**嘉見 壽徳** 71歳(2)



無投票当選に責任の重大さを感じ、二期目の重点目標を次のとおり行います。

一、島根県唯一の村を全面的に押し出せば、観光並びに定住事業に取り組めます。また、第一次産業である水産業、畜産振興の発展を図ります。二、村財政が破綻寸前な現在、村当局と議会が一体となり知恵を出し合い村民の生活の安定と福祉に努めます。三、村民の声を聞き行政に反映をします。

**並河 広忠** 50歳(2)



議員として二期目に入りましたが、四年前も今も村の財政は逼迫しており、少な

ら変わるべきではありません。少しでも財源を確保するために、産業振興による牛の増頭、観光客の動員、定住による人口増等を考えながら今後の議会活動に望みたいと思

**口村 善澄** 41歳(2)



二期目にあたり、微力ながら知夫村の発展のために頑張らせていただきます。

一、U・Iターン者への定住対策を推進します。二、離島漁業再生支援事業等の補助金の有効活用を目指します。三、公共料金の抑制、見直しを図ってまいります。

役場において、大前松男選挙管理委員長より、当選された議員に当選証書が附与されました

## ◆柿木 知足



「知夫らしさ」

知夫での思い出は、海の幸、山の幸を採ったり食べたり、きれいな海で泳いだり、山の中を散歩したりなど、自然の中で生活できたことが一番の思い出です。知夫の好きな場所はアカハゲ山で、360度、島前を見わたせてとてもきれいなので好きです。僕は将来どんな知夫になってほしいかという、今のままの自然に囲まれたきれいな知夫のままがいいです。なぜかという、知夫らしさというのは、海がきれい、森がきれい、空気がきれいということだと思っからです。きれいで、美しく、自然のあふれている知夫のままでありたいです。

## ◆村尾 航司



「知夫の思い出」

僕の知夫村での思い出は、地域の行事です。アザミ掘りや蛇巻きなど、他の学校とはちがう体験ができたことがとても思い出に残っています。ほかにもお大師参りや皆一太鼓なども思い出に残っています。また僕は、このような思い出がたくさんある知夫が好きです。知夫村で僕が好きなのは、すぐ近くに海や山があり自然がとてもきれいなことと、地域の方などとても優しいということ。なぜかという、海や山はよく遊びに行っていましたし、地域の人たちにはとてもお世話になったから。またこの二つがなければ、今の僕はいないと思います。最後に将来知夫は、あまり変わらず今のままであってほしいです。僕たちが帰ったときに思い出の場所が残っているの、あまり変わってほしくないです。

## 卒業生から ふるさとへ

知夫中学校  
平成18年度 卒業生

## ◆福山 雄士



「知夫への思い」

僕は、今まで15年間、知夫で過ごしていましたが、中学卒業と同時に知夫を離れなくては

なりません。今までは、親元を離れどこでどうなるかわかりませんが、最終的には知夫に戻ってきたいと思っています。その時も今と変わらず村民一人一人が村の事を考える知夫であってほしいです。また、僕の大好きな釣りなどでお世話になった豊かな自然を保ち続けている知夫であってほしいです。

## ◆敷 奈保美



「知夫のいいところ」

知夫のいいところは、海や山などの自然がいっぱいあって、みんなが優しい所です。ほかにもいっぱいあって好きです。私はそんな知夫村に生まれてきて良かったと思っています。

ですが知夫の子は中学校を卒業して高校に進学するとなるとほかの島の学校へ船で通う知夫を離れなければなりません。それは悲しいことですが、離れることによってちがう角度から知夫の事を見られると思います。私も知夫を離れるときが来ると思うので、その時はちがう角度から知夫を見て新しく知夫のいいところを見つけたいと思います。そして新しく見つけた知夫のいいところをたくさんの人に伝えたいと思います。

## ◆田上 優



「自分のふるさと」

私は、自分が生まれ育った、この知夫村が好きです。知夫での思い出で、まさき頭にうかんだのが、夏の知夫村の事です。夏になれば、沢山の人が知夫に戻ってきます。私は、夏のあのにぎやかさが好きです。渡津に行けば、沢山の人が泳いでいるし、夜になれば、花火を楽しみます。この風景がこれから先何十年もつづけばいいなあと思います。また、知夫は自然にとってもめがまれていると思います。こんなにすばらしい自然に囲まれている所はとてめづらしいと思うので、これら先もずっとこの自然を保ってほしいです。



5月7日

# ちびのおだりつゆん参り

ごっつおうをよばれに各地区を回りました

「お大師参り」は、弘法大師（空海）の命日の旧暦の三月二十一日を縁日とし、島内の神社、寺堂、地藏尊を巡拝する風習で、老若男女を問わず村民こそつてお参りする日です。有名な四国四十八カ所の小豆島の霊場は、その代表的なものです。知夫村の「お大師参り」はそのミニチュア版ともいふべきものです。昔の巡礼の道順は、必ず右回りといって、自分の所在地から島を右回りにお参りする決まりがありました。現在は、車で後戻りしたり、この決まりごとは廃れたようです。

この日一日は、各地区をのんびりと回り、おさい銭をあげて、ご婦人の方が用意された美味しい料理を堪能し、至福の日を過ごしました。





来居地区にあるお堂は、後醍醐天皇が知夫里島に滞在した時の元願成寺にあった仁王門の一部を活用して建てられた建物で、古くなって維持困難な状態になっていることから地区住民の総意で建築計画が立てられていた。

◆ 平成十八年に来居区長に向濱樽幸が就任。懸案のお堂建立の事業も引き継いだ。

詳細を検討したが、総数二十戸で細々と積み立てている資金では、早急な建立実現は困難な状況と思われた。一方年配者の多い現状の中、一日も早い建立を実現したい状況に樽幸は頭を抱えた。なんとかしたい、何か方法はないか、考え続けた。

降って湧いたような朗報が入った。知夫村の『元気な集落づくり活性化事業補助金』支給の通達があった。

お金がほしい、補助金申請をした。役場からのご配慮もあり、九十三万円の補助金支給が確保できた。しかし、これは年度内事業のために後には引けなくな

った。地区の集会に年度内に実行する事を提案した。資金の裏付けのない見切り発車的な提案ではあったが、区会で承認された。

早速お堂建立実行世話人会（福山国雄会長以下七名）が設立され、実現に向けての討議が繰り返して行われた。

区長兼任で事務局実務を担当した樽幸は、資金不足に悩んで

## プロジェクトX 夢ある地域づくりを目指して

# 知恵出せ、汗出せ、やる気出せ!!



向濱ご夫妻

### 来居お堂再建

来居お堂建立世話人会  
来居区長 向濱 樽幸



元願成寺仁王門の獅子の彫刻



元願成寺仁王門天井絵

いた。妻の和枝が言った。

「おとうさん、私たち旧婦人会（そよかぜ会）の貯金をお堂に寄付する事になったよ。」

そよかぜ会のお金に驚いた。七十七万円、歴代の会員の皆さんが電気代の集金手数料等をこつこつと貯えていた。女性の堅実さと偉大さに敬意を感じると共に、お堂建立の実現に光明が見えた思いがした。

建造物の仕様設計と資金計画を立てた。費用は最少限度に抑える、装備品は旧品の再使用をし、自分たちで出来る事は賦役

作業で行うということで、建築費用総額は四百六十万円になった。

一方、資金は建立資金積立金、区会及び益踊り会計からの転用、集落活性化補助金及びそよかぜ会の寄付金の総計で四百万円、雑費費用を加えると最小限度で七十八万円の資金不足、さらには上下水道管の布設工事が自分たちの賦作業で出来るのかにも疑問があった。

悩み考えた末の結論は、以前にも話題になった来居出身出郷者への寄付依頼、来居のお堂は昔からみんながお堂の内でも外

でも遊び育った思い出の深いもの。助けてもらえるのではない。世話人会に語り出郷者と地区内在住業者及び新規住民の皆さんにご寄付をお願いすることになった。

樽幸は和枝の助けを借りて世話人会の会長の承認を受けながら寄付金依頼の文書を発送し、島内は歩いてお願いに回った。最初は寄付の頼みは申し訳なく気が引けたが、目標の建設費を考え、勇気を振り絞り問い合の電話にお願いする声に力を込めた。

当初寄付が集まるかどうか心配をしていたが、早速に大口の振り込みが続々と入ってきた。一ヶ月足らずで最初の目標額を達成できた。不安だった心も、いつしか目標達成に汗を流す日々になんか線になるようにお堂建設完成が確信のもてるものになった。

また、隣地を地主さんのご厚意でお堂に使うことならと安い価格で来居区に譲って頂いた。寄付金は予想をはるかに越えて、八月末の振り替え締切日には上下水道工事費も賄える金額になった。その後も地元有志の寄付金が続ぎ、崖の掘削整地、スロープ通路の整備費用も確保できた。樽幸は温かいご支援とご厚情に唯々感動をし感謝した。

お堂には口村大工さんにご苦労をして頂いて、旧仁王門の獅子の彫刻及び天井絵の再使用し保存をすることができた。

賦役作業の解体工事、建前側組は地区の皆が集まり共同作業で行った。奥谷盛夫（93）、山本千松（92）も元気を姿を見せて手伝いをした。若手年寄の小松操、脇坂才太郎は悪天候の中、連日材木運びや瓦運びに頑張っていた。

地元にいる人、出ている人、全ての人々の熱意と協力が一致集結して小さいながらも皆の気持ちがいそいそと誇らしく見える来居のお堂が完成した。

「今やらなければ積み立てをしたお年寄りの方は新築したお堂を見られなくなる。やるなら今だ！」

樽幸の一途な思いがお堂建設となり他の地区の地域づくりの指針となった。

◆ プロジェクトX エプス

地域づくりの根本となる来居地区の今回の取り組み、来居地区、出郷者の皆様大変ご苦労さまでした。

お大師参りで賑わう来居お堂





すっかり定着した「ヨコワ漁」。生きたヨコワを保管する生けす整備。



海岸清掃



水産業において海と森と  
は一体のもの。豊かな海  
作りのために浅島をはじ  
め島内に抵抗松を植樹。



島根大学雑木刈ボランティア



フェリーにて本土に旅立つ隠岐牛  
(ブランド名「潮風牛」)



わずかのフェリー着岸時に牛の積み込みを行います。

水産業では、離島漁業再生支援事業の活用を利用して「ヨコワ漁」「イワガキ」生産支援や、近年の海の汚染防止のために島内での松の植樹も行っています。



この季節、ホテルでは海のミルク「イワガキ」をお客さんに堪能していただいています。  
(ホテル調理長 長畑一裕さん)



例年4月から出荷される、とれたてのイワガキ加工に大忙し。



イワガキ滅菌処理施設により、これまで食中毒もなく安心できるイワガキを消費者に提供しています。

# 産業振興を目指して

「経済なき所、人住まず」といわれる中、村では従来の基盤産業である水産、畜産業の育成に創意工夫を加えて産業づくり  
に力を注いでいます。



三月牛市場に他県からの飼育業者の方も牛購入に沢山来られました。

畜産業では、飼料基盤、放牧場機能アップ事業等を活用して西牧、居島牧の放牧場の基盤整備や島根大学生のボランティアを活用しての東牧の雑木刈払い等を実施して畜産農家の方の放牧環境の整備に努めています。  
本村の牛は、島根県畜産共進会へ、隠岐代表として四年連続出場し、優良牛として県下に高い評価を得ています。



# 知夫里島 イベント情報

伝統文化は、地域の歴史が育んだ独創性があります。知夫里島は、全国に珍しい伝統行事の継承や数多くの文化財、トウテイランをはじめとする自然が手つかずに残された魅力ある島です。独特の時を超えた時間の共有をお楽しみ下さい。

## 牛の海泳ぎ / 4月1日～9月30日



気持ちよさそ～！  
牛が海を泳ぎます。  
10名様まで1万円、1名様  
増につき1,000円プラス

知夫里島観光協会  
☎(08514)8-2272

## サザエのつかみ取り / 8月4日



腹いっぱいのお楽しみが待っています。夏は、家族そろってちぶり島へ  
◇参加料 大人3,000円  
子供2,000円

知夫里島観光協会  
☎(08514)8-2272

## 知夫里島花火大会 / 8月14日



知夫湾内で打ち上げられる花火は、周辺で見られることから帰省客の方にも楽しんでいただいています。盛大な爆発音は、貴方に大きな感動を与えてくれます。

## お大師さん参り / 5月7日 (旧暦3月21日)



四国88箇所参りの知夫版、弘法大師の命日を縁日として、古くから行われている行事で、村内のお堂、地藏尊をお参りすると、各地区のご婦人の方の「ごつつおう」が堪能できます。

## 皆一踊り太鼓 / 9月25日 (旧暦8月15日)



隠岐の島町の国分寺の蓮華会舞、西ノ島町美田の十方拝礼と隠岐の3大舞として名高く、扇子1本をもってゆったりと踊る鎌倉時代から続いている古典的な素朴な踊りです。

## とって隠岐スリーデーウォーク

／6月2・3・4日



毎年開催されているウォーキング大会。  
知夫の雄大な自然の中に溶け込んでさわやかな汗を流してみたいかですか。

## バレーボール・フェスティバル

／10月中旬～11月後半の土日開催



知夫里島のバレー好きの若者が集まり、バレーを通じて島で酒を酌み交わし、夜が更けるまで語らい交流します。

## のんびり隠岐で海遊び

／7月15日～8月27日



の～びりと、無人島！青い空、蒼い海でサザエ取りや、海辺の釜飯(サザエ入り)を体験してみたいか。詳しくは

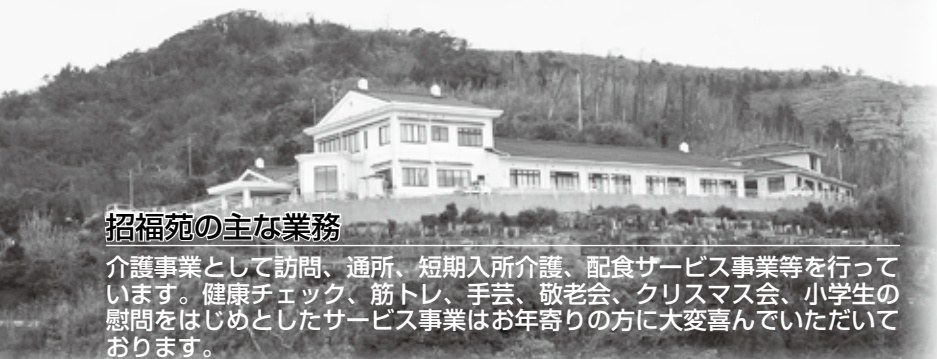
(株)ハローツーリスト  
☎(0859)32-8600

## 蛇巻き / 11月28日



毎年、村内7地区で行われる行事で、早朝から用意した藁で蛇を編んで、荒神さんの木に巻きつけます。年最後の無病息災を願う素朴な行事です。





## 招福苑の主な業務

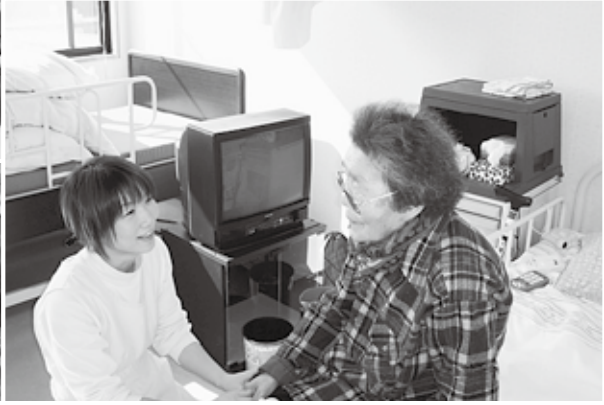
介護事業として訪問、通所、短期入所介護、配食サービス事業等を行っています。健康チェック、筋トレ、手芸、敬老会、クリスマス会、小学生の慰問をはじめとしたサービス事業はお年寄りの方に大変喜んでいただいております。

# 招福苑だより

生まれ育ったふるさとの島のリズムでのんびりゆったりと暮らしてます



山陰合銀から  
車椅子寄贈



**村**から社会福祉協議会に、招福苑の管理・経営が任せられ一年が経過いたしました。招福苑は、多沢のそらに建つてから十五年目を迎え、まるで別荘のようなたたずまいで、朝夕の招福苑から浅島、神島を望む展望は、風情豊かな景色を毎日私たちに見せてくれます。まだ一度も苑の中を見事のない村民の方、出郷者の皆様、是非、見学においでください。職員一同、大歓迎いたします。

招福苑は、現在十六名のお年寄りが入居されています。お年寄りのたいがいの方は、「わがところから出たくないだけん、ここならいつでも、家になれっしなあ〜」と言われ、ずすなあになら、つれもどらあわな、なんぼなんでも……なあ〜」と介護職員に、笑いながら話す横顔は安堵感に満ち溢れています。私たちスタッフは、今まで通り、お年寄りの方たちが、住み慣れた環境で安心して暮らせるように、様々な介護サービスや配食サービス等の提供をしております。また、今後もここを利用されるお年寄りの皆様をはじめ住民の皆様の支えにより、安定した経営を維持継続していきたいと強く感じております。知夫村の社会福祉活動が、今まで以上に円滑に推進できるよう、今後とも、ご理解をいただき、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

招福苑の入所・デイサービス・短期入所・配食等のお問い合わせは知夫村社会福祉協議会までお申し出ください。

TEL: 〇八五一四一八二二七〇  
E-mail: syoufukuen@tx.miracle.ne.jp



# 変わった知夫里に、びっくり

富山市 山本 隆寿（七十歳）



隠岐丸で大江の港を離れ五十四年。随分昔の事になりましたが、子供の頃は知夫里で四季折々の山の幸、大麦、小麦、薩摩芋、馬鈴薯、大豆、小豆、キビ、アワ、トウモロコシ、ソバ、また野菜作り、海の幸では、若布モバ、鯛とり、鳥賊釣してスルメ作り等、冬期間中に食べる保存食作り、暖房用の薪の蓄え等、親の手伝いをして自給自足の様な生活は一時も忘れたいことはありません。三十七年間の海上生活を終え、現在はボケ防止と体調維持、小遣い稼を兼ね海から山へ登り、夏四月中旬から十一月初旬迄、日本で一番高い処にある国民宿舎立山荘で二、〇〇〇メートルの自家発電とポイラー設備の管理担当、冬は一月から三月中旬迄富山大学キャンパス内で暖房管理をやっております。

平成六年春に第六期生の同窓会が鳥取市内で開かれた折に二十年ぶりに帰省し大変わつた、知夫里に替えたわい。毎回広報ちぶを送付して頂き楽しみに隔々送付させてもらい、ある程度変わった知夫里は想像していたつもりでしたが、赤禿山、高平遠台、赤壁、キサネ浜と車で一周出来る道路が出来ており、山は樹木が無く禿山となり、海岸通りはセメントで固められ、海は枯れ、昔磯遊びしてサザン、アサリ、タコとりした思い出の場所が無くなつており大変寂しく思いました。

富山の方では海山を守る為、毎年漁業者、農林業者共同で植樹しており、夏は全国各地からボランティアが参加し森林の雑草刈と荒地の環境整備を行う、草刈十字軍の事業を実施されています（病虫害殺虫剤を大量に散布したのがきっかけとなり始められた事業）。現在は、知夫里でも植樹に頑張っている様ですが、酸性土壌に強い木を植えたいかがでしょうか。最近中国韓国の発展に伴い立山麓でも酸性化した黄砂混じりの雪が降り六月末頃雪が融る迄は酸性（PH4）となり樹木の立枯が見られる様になっています。

平成十七年にはお大師さん参りを兼ねた同窓会が知夫里で開かれ、六年振りに帰省しジゲジュウウの

お堂地藏尊を参り子供の時の懐かしい故郷の味を満喫させてもらいました。また新設された汐見橋お松橋も渡り、「今度何時渡れるかわからんだけん」と、皆で記念写真も撮り楽しい一日を過ごしました。

最近こちらでは有機肥料で栽培された無農薬作物が少々高価でも良く売れています。また、家庭菜園ガーデニングが流行しており有機肥料がよく使用されています。知夫里でも昔はモバ、オンノキの乾燥肥料を畑に撒き作物栽培を行い、収穫された物はうまかった思い出があります。また、乾燥した肥料は漁業組合に渡し収入も得ていました。労力は漁等は海の幸豊富なリン酸ミネラル、カリウム等、環境に優しい天然肥料を知夫里のブランドでインターネット販売されたら如何でしょうか！古い考えかな？

遠くに生活してはいるのですが、知夫里を忘れず、元気でいる間に時折帰省し、変つた知夫里を見たいものです。



立山荘案内板前で

## 幻の味を求めて

兵庫県 木下 孝（五十三歳）



私が中学校卒業と同時に故郷を離れたのは、昭和四十三年三月です。高校・大学と進み、縁あって兵庫高砂市の教員となりました。

「光陰矢の如し」とはよく言ったもの、小中学校の教員十五年、県教育委員会十六年を経て、平成十八年度から高砂市立鹿島中学校の校長として勤務しています。中学生を見ていて感じる事、それは、

# ふるさとへの想い

「ふるさとへの山に向かいていうことなし、ふるさとへの山はただありがたきかな」  
(石川啄木)

①我慢が足りないこと、②規範意識に欠けるということ。その原因を探ってみるに、生徒の保護者が育つたのが昭和四十年代から五十年代であり「物が豊富」で「個人の権利」が認識された時代です。保護者の価値観が子どもたちに反映しているように思います。この見方は間違っているのでしょうか。

知夫里での生活はわずか十五年だったのに、いつまでも知夫里のことが忘れられないのは何故でしょうか。年を経るにつれて余計にその思いが募るのは私だけでしょうか。郡の高台にあった我が家から見える小中学校の木造校舎、船が入り出る那や大江の港、赤禿山や薄毛の灯台から見える島々の絶景等々、昭和三十年代の子ども頃の風景は、モノクロ写真となつて私の脳裏にくっきりと焼き付いています。

私は子どもの頃から相撲が大好きでした。そのきっかけは、小学校一年の時、当時郵便局に勤めていた二十二歳年上の兄一富（松江市在住）に連れられて、島に唯一あった灯台のテレビで相撲を見ました。翌三十五年三月場所の史上初の全勝決戦も、手に汗握って見ていたことを昨日のように覚えていました。その後は、学校で四時からテレビ放送を見せてくれたので、地の利を生かして毎日見に行っていました。今でも、大阪場所を見に行くのを楽しみにしています。

私にとって「田舎の味・おふくろの味」といえば、「せんたまま」です。真冬の海苔つみの合間に起きた「せんた」で、母やさんが作ってくれた炊き込みご飯が好物でした。みなさんはその味を覚えているでしょうか。まだ数年先の話ですが、退職したら「幻の味」を求めて、「せんた」の美味しい頃に知夫里に帰省しようと思つています。もう一つ、退職後の楽しみとして秘かに考えているのが、旧暦の三月二十一日のお大師さん参りです。四月のうらかな春の日を浴びて、れんげ・たんぼぼ・山つづじの咲く田舎道を歩きながら、懐かしい人との触れ合いや郷土の味を楽しみたいと思います。最後にになりましたが、私の心の歌・思い

出の歌「知夫中学校応援歌を書いてみます。一度口ずさんでみて下さい。」  
一、赤禿山下に翻る 深紅の旗の波の下  
おたけび高くと轟き 知夫中健児意気高し  
雄叫び高く轟き 現す時は今なるぞ  
二、鍛えし鉄腕健脚を 知夫中健児万々歳  
歓呼の嵐連勝に 知夫中健児万々歳

## 迷っていませんか？ セカンドライフ

横浜市 安藤 直美（五十五歳）



私は現在横浜に住み、戸塚区役所地域振興課生涯学習支援センターで勤務しています。ここの仕事は、地域住民の生きがい作りをサポートする窓口の仕事です。今年、団塊世代の方が大勢定年退職するため、地域デビューのイベントを企画しています。知夫出身で、本土で定年を迎える方も多く、知夫里で余生を送りたい」と考える人も多くはないでしょうか。知夫で生まれ育つた人なら誰もが故郷の念を抱くことでしょう。私自身どこにいても心のどこかに原風景である知夫里があります。いつしよに遊んだ友や、隣近所の人たち、春には山で山椒やわらびを採り、夏には夕涼みを兼ねてカンコで船をこぎ、イカ釣りに行き、海に潜ってさざえを獲り、秋には山でたなごやあけび採り、冬には波加島で岩の感触を掴みに。都会の喧騒の中でストレスを感じるのと田舎が妙に恋しくなり、夏の盆には帰省ラッシュも苦にせず知夫に帰り、リフレッシュします。しかし、余世をずっと田舎で暮らすことには不安を感じる人も多いのではないのでしょうか。Uターンできない理由は人それぞれですが、一つには大病した時に入院できる病院が知夫里にはないことや、生き甲斐となる何かが見つからないことが要因になるかと思つています。東京にも知夫里会があるようですが、参加したことがないので、次回は参加して、知夫里でのセカンドライフについて、知夫里弁で語ってみたいと思います。

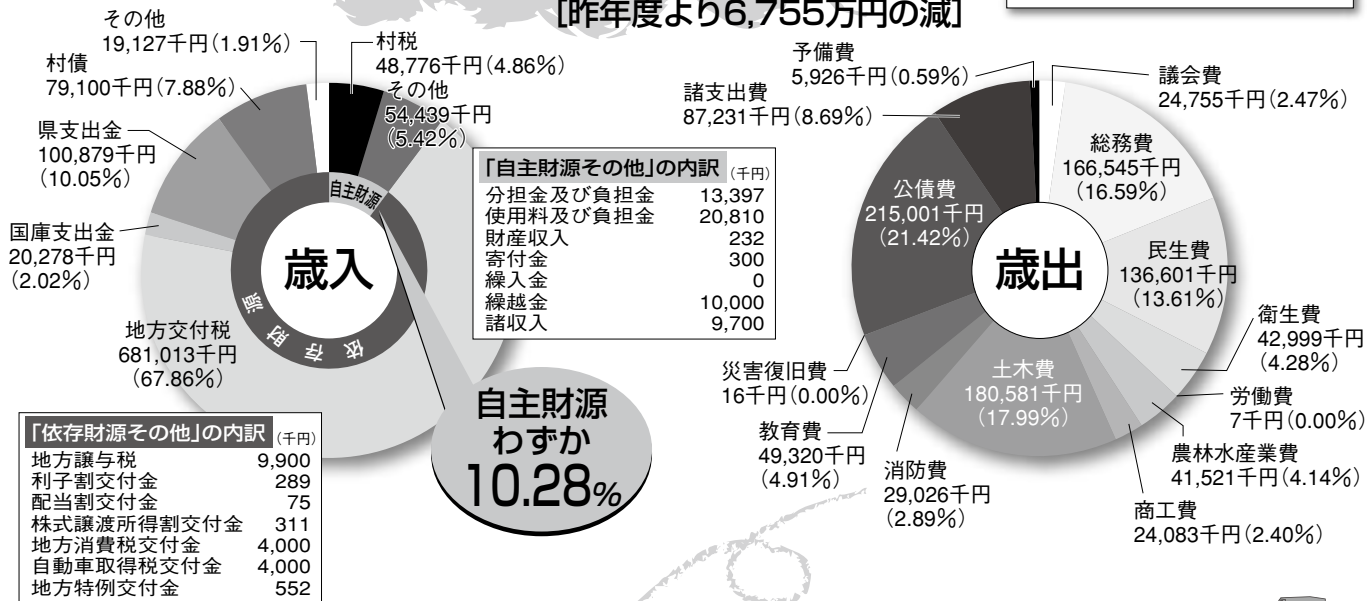


平成19年度  
一般会計当初予算

# 村単独生き残り自立予算 10億361万円

[昨年度より6,755万円の減]

- 村民1人当たりの歳出予算額 1,403,650円
- 村民1人当たりの借金の返済額 300,700円



【目的別の歳出内訳】

- 議会費 24,755 千円**  
議員・事務局職員人件費、議会運営費など
- 総務費 166,545 千円**  
一般・人事・財産管理・消防・企画・徴税・広報・選挙・統計・開発センターなど
- 民生費 136,601 千円**  
社会福祉・高齢者福祉・国民年金・児童福祉・保育所・戸籍・乳幼児医療など
- 衛生費 42,999 千円**  
衛生総務・生活習慣病対策・母子保健・診療所・歯科・環境衛生など
- 農林水産業費 41,521 千円**  
農業委員会・畜産・農業振興・林業・水産振興など

- 商工費 24,083 千円**  
商工総務・振興・観光・公園・自然環境など
- 土木費 180,581 千円**  
土木・道路新設改良・維持・河川管理・港湾管理・下水道・簡易水道・ゴミ・し尿処理など
- 消防費 29,026 千円**  
非常備消防・水防・消防施設維持など
- 教育費 49,320 千円**  
教育委員会・学校管理・教員住宅・社会教育・文化財保護・公民館など
- 公債費 215,001 千円**  
村債(借金)の元金・利子の返済・一時借入金利子など
- 労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費 93,164 千円**  
雇用対策・中小企業・基金への積み立て・不測の支出に備えての費用など

特別会計	
国民健康保険特別会計	135,760 千円
診療所事業特別会計	94,417
歯科診療所特別会計	19,715
老人保健医療特別会計	138,544
簡易水道特別会計	34,940
下水道特別会計	51,358
計	474,734

主な事業

- 村道長尾線橋梁改修工事 75,431 千円
- 仁夫里団地改修工事 49,208
- 離島漁業再生支援事業 10,054

予算審査報告



予算審査特別委員長  
並河 広忠

一、平成十九年度各種会計予算は地方交付税抑制の中、行財政改革並びに職員の人件費削減等により村単独の生き残りをかけた行財政運営の努力に対し、深く敬意を表する。

二、住民との情報公開の中で説明責任を明確に行い、住民に地域課題を真摯に考えてもらい相互間の地域力を養い、住民との協働の質を高め、発展的村づくりを図るよう要望する。

三、「経済活動なき所に人住まず」の言葉のとおりホテル経営等をはじめとしての行政が経営手腕を習得し、収益産業の発展を図るよう要望する。

四、地域のボランティア活動、収益産業への参画に必要な役員職員、住民の投資的能力の育成を要望する。

【ホテル経営について】

経営は、職員他関係者のご支援、努力により改善方向にあり、赤字額は、十六年度千二百万円、十七年度五百四十万円、十八年度見込二百万円となり、収支均衡まであと一步の努力となっております。

今後とも経営努力と皆様のご協力によりホテル存続を図りたいと考えています。

ご協力をお願いします。







一宮神社神社境内地  
「後醍醐天皇お腰掛の石」

金一封をいただきました。  
ありがとうございます。  
(敬称略)

### 広報郵送料のお礼

- 矢田 剛俊 郡 大阪市
- 山本 幸 郡 大阪市
- 山根 雅広 多沢 大阪府
- 金澤 康子 多沢 大阪府
- 横川 洋 多沢 出雲市
- 角 ゆかり 多沢 出雲市
- 土居 次郎 愛媛県宇和島市 大江
- 鹿島 恵 郡 尼崎市
- 濱名 昭弘 郡 尼崎市
- 並河美由岐 郡 尼崎市
- 堂下 愛修 多沢 松江市
- 細田 愛 多沢 松江市
- 細木 昌平 郡 松江市
- 並河 愛 郡 松江市

## 戸籍コーナー

(太字は村内在住者・敬称略)  
平成19年1月1日〜平成19年4月30日届出分

### 結婚 おめでとうございます

### おすこやかに お誕生おめでとうございます

- 奥本 勝海 保護者 重勝
- 横畑進次朗 保護者 英樹

### やすらかに 心からおくやみ申し上げます

- 仲野 利朗 大江
- 鹿島 隆夫 多沢

## 1 ターン紹介

### “火の国 熊本より” 永谷さんご一家 (大江)



永谷 仁・マリ  
麗華・瑞樹・優華・幸絹

大自然を求め「火の国、熊本」より越してきて、早くも1年が経とうとしています。知らない土地、離島ということに不安もありましたが少しずつ知夫里の生活に慣れてきているところです。

まず、何でも手作りという事に驚きました。品物は買い、使い捨てが当たり前だった生活から一転し、一つ一つの物を大切に、工夫し活用する、我慢する事を改めて感じています。この様な生活が習慣となり、考える力、我慢する力が身に付けば良いと思います。

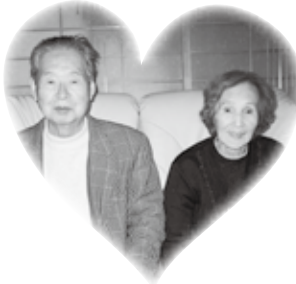
また、海に山に風習にと、未経験の事ばかりですが、見よう見まねで出来る事から少しずつ始めています。これも周囲の方々の気遣い、協力、指導があつての事と感謝しています。

そして、人情豊かで、和気あいあいとしたこの知夫里島に住むことで、ほのぼのとした穏やかな心、思いやりのある優しい心が育つと思えました。

これからも、島の生活を教わり、自然とふれ合い、いろいろな事を学びながら楽しく過ごしていきたいと思えます。

まだまだ、分からない事が沢山ありますが、これからも親子共々よろしくお願いします。

## 夫婦そろって88歳!! 渡部光慶・茂子ご夫妻



島の子供達が都会での生活の中で、ものおじしないようにと、バレーボールを学校教育に取り入れた光慶氏。氏の志は代々指導者に引き継がれ、今では、バレー、テニス、レスリング等、県や全国大会で活躍するたくましい知夫健児が育っています。四季の彩りを奥さんと一緒に楽しみながら、夫婦ともども遠くで活躍される教え子に想いを馳せながら暮らしています。



林 名望  
● 歯科医師

島で暮らして数日ですが、島の皆さんに本当に良くしていただいています。ずっと前から住んでいるよな気がします。



横田 和久  
● 内科医師

心温まる素敵な島。知夫の自然は素晴らしいですね。知夫ならではの楽しい遊び教えてください。

四月から新しい先生が赴任しました。よろしくお願ひします



福山 直人  
(24歳)

## ニューフェイス

四月から役場の教育委員会に配属になりました「直ちゃん」と福山直人君。

モットーは「明るく大らかに生きること」。島に帰り、中学、高校と鍛えたバレーの技をコートいっぱい元気に披露してくれています。村づくりのニューリーダーとして活躍が期待されています。

「頑張れ! 直ちゃん。」

### 編集後記

皆様の温かいご意見のもと、昨年に続き島根県広報コンクールに入選させていただきました。知夫広報は、出郷者の方をはじめ多くの方にふるさとの情報公開を通じて、皆様の貴重な意見をいただく中で、皆様が一年々心豊かに生き抜いていけるような内容の広報づくりを目指しています。

敷島の和心を人間はば  
朝日に匂う山桜花  
本居宣長は、日本人の美しい心を桜の花にたとえて詠いました。心豊かで美しい村、知夫村。皆様のご意見をお待ちしております。

(山本)

直通電話 〇八五一四一八九〇一三  
E-mail: chisen@chibu.jp





永谷 優華さん 山本 明里さん 古谷 齋さん 能海 堅斗くん 野田 郁実くん



山上憶良は、  
子は無上の宝であるとして  
「まさされるたから  
ここにしかめやも」  
と詠みました。  
知夫の宝を紹介します。



高田 翼くん 江川こずえさん 木村 千尋さん 上仲真奈未さん



堂下 湧斗くん 川本 和伽さん 安藤 優希くん 徳若 亜未さん



山本 梨乃さん 濱 拓人くん 木村 晶乃さん



渡辺 陸斗くん 小新 友葵さん 宮岡 将司くん 永谷 瑞樹くん



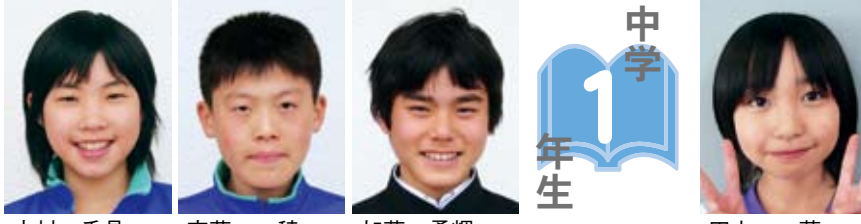
野田 正樹くん 木村 幸昌くん 南家 岳史くん



金田 菜奈さん 南家 タ子さん 佐々木 航くん 口村 雄大くん



永谷 麗華さん 安藤 洸くん



木村 千晶さん 安藤 稜くん 加藤 勇輝くん 田上 藍さん



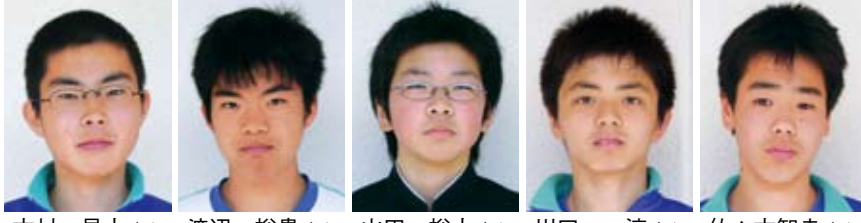
川本 息生くん 小新 好輝くん 江川 貴大くん



矢田 菜奈さん 敷 貴久くん 木村 昌也くん 山田 真奈さん



江川 美帆さん 口村 詩乃さん 渡辺 涼太くん



木村 昌太くん 渡辺 裕貴くん 山田 裕太くん 川口 淳くん 佐々木智幸くん 口村 彩乃さん 矢田 涼一くん

